

研究課題番号	1-1805
研究課題名	汚染土壌浄化・再利用と廃棄物高減容化を目指した亜臨界水処理システムの開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	東京工業大学
研究代表者名	竹下 健二

1. 委員の指摘及び提言概要

亜臨界水イオン交換処理システムに関する工学的課題を体系的に整理し、スケールアップ・実機設計の条件を明らかにしたことは有意義であり、評価できる。また、実験室レベルであるが、段階的に研究が進められ数値目標を達成あるいは達成可能なことが示されている。土壌活用に向けた Cs 除去手段の一つとして今後につながる研究であると認識した。しかし、プロセスが複雑となるので、乾式法に比較して有利な側面があまり明確でなかった。実装（実用）する場合にどのような規模のプラントが具現化するのか、設計上・運転上、あるいはコスト上で、どのようなボトルネックがあるのかについて明確になると良いのではないかと。

2. 採点結果

評価ランク：A